

原子力機構 燃料研究棟汚染事故に係る対応（日報）

○6月29日（木）掲載

6月28日（水） の実績	内 容
現場復旧対応	<p>○108号室の安全確保のための措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フード内の貯蔵容器の蓋を固定するための作業手順を作成しました（継続）。 <p>○現場の除染</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業内容等を検討中です。
原因究明対応	<p>○内容物の同定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貯蔵容器80個分の帳票類の履歴調査を継続中です。 <p>○破裂メカニズム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金属缶中でのガス注入によるバッグ破裂試験を継続中です（非管理区域）。 ・樹脂のα線分解試験を実施し、重量及び密閉状態での内圧測定を継続中です。 ・He照射、γ線照射試験の準備中です。 ・要因を図式化したフォルトツリー解析図を作成中です。
その他 (総点検・水平展開、 被ばく評価対応など)	<p>○核燃料物質の貯蔵等に係る総点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各拠点における総点検（貯蔵中の核燃料物質の管理状況、貯蔵容器等の取扱い作業に関する管理状況の確認等）を実施中です（6/15～）。 <p>○被ばく評価（バイオアッセイ協力、外部被ばく評価）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・便試料の分析作業、外部被ばく線量の評価を継続中です。 <p>○外部対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子力規制庁と定例報告、非定常作業計画書（フード内貯蔵容器の蓋固定作業）及びスミヤろ紙等の分析作業に係る面談を行いました。 ・五霞町議会から要請書を受領しました。